

## 議会報告会報告書

開催日時	平成30年2月17日（土）午後3時 終了：午後4時32分	
開催場所	白山市福祉ふれあいセンター 2階 視聴覚室	
対象団体	白山市連合壮年会	
参加人数	53人	
班構成	B班	中野 進 安実隆直 永井徹史 北嶋章光 村本一則 宮岸美苗 西川寿夫
役割分担	挨拶：西川寿夫、司会：宮岸美苗 報告：議会改革／村本一則、総務企画／中野 進、文教福祉／安実隆直 産業建設／北嶋章光、特別委員会／永井徹史	

**（質問1）**

今年の豪雪で除雪やいろいろな問題があったと思うが、2月10日から13日までゴミの回収ができなかった。その案内を聞いたのが前日9日の午後5時頃で、行政としては防災行政無線やあさがおテレビ等で周知したと言っているが、そのような時間に誰も見えない。雪のため回収できないということはわかるが、対応が非常に遅い。おそらく雪害対策本部の会議が終わってすぐに周知したと思うが、もっと早くにわかったはずである。今回の経験を生かして雪害に関する対策もマニュアル化するようにお願いしたい。

**（答 弁）**

今回は7人の議員が参加しているが、3月会議では当然他の議員からもそのような質問が執行部に対してあると思う。我々も一体となって取り組んでいきたい。

**（質問2）**

どこの道の駅に行っても女性が着替えをするスペースがない。めぐみ白山に小さなスペースでもいいのでつくってほしい。

**（答 弁）**

今のところめぐみ白山にそういうスペースはない。施設のどのようなかわからないが、そのような意見があったことを伝えたい。

**（質問3）**

先日町内に住んでいる人がけがをして救急車を呼んだら、近い川北町から来たので大変助かった。除雪に関しては、白山市内はきれいだが川北町入ると車が壊れるぐらいガタガタで、手取川を渡るとまたきれいになる。白山市もそうだが、金沢市、野々市市から一般道を通って南のほうに行くにはたいてい川北町を通ることになる。除雪も広域的な除雪計画を立て、あと1.5kmか2kmを延長し、お互いに補填して白山市と川北町が大きな視野で取り組んではどうか。

**（答 弁）**

現状を考えると順番に除雪をしているが業者が足りない、きれいにできるところと圧雪になっていてなかなか除雪できないという現状はあるにはある。それでも優先順位をつけて除雪する必要があると思っているので市にも伝えたい。当然除雪は業者だけに任せるのではなく、雪害として捉えるのであればみんなで考えていかなければいけない。

(答 弁)

今回の除雪については各地でもさまざまな意見が出ており、当然私たちも聞いている。私の地区では朝6時には全ての道が除雪されるが、共助ということで住民の皆さんも協力している。全てを行政にやれというのも無理なこともあり、今回のことをしっかりと検証し、広域連携をほかの面でも実施しているので、議長会等も通じてそれぞれに反省をしながら次に生かせるような話を広げていきたいと考えている。

(質問4)

情報伝達の方法としては防災行政無線やあさがおテレビがあるが、この際見直ししてはどうか。せっかく告知端末や個別受信機を住民に与えても取り付けない。そうすると当然情報の伝達ができないし、遅くなる。幸いにも生死に至る問題ではなかったのが良かったようなものだが、これが地震や白山の噴火ということになったら大変なことになる。そういうことをまず議会のほうから行政のほうに話をしてほしい。

(答 弁)

市では、市内全域を統一したような伝達方法を考えている。まだ来年度の予算が明らかになっていないため明確な回答はできないが、そこで疑念のところが解消できるのではないかと思う。

(質問5)

政務活動費の使い方として、議員一人一人が横の連絡をとりながら、どのように活用しようとしているのか年度当初に各個人が目標を出し、それに対して同じような動きをするような議員がいないかどうか把握することで無駄遣いの防止になるのではないか。

(答 弁)

政務活動費は議員一人に月6万円が支給されており、個人がどういう形で勉強するかということになっている。会派で一緒にどこかへ勉強に行くというときには連絡はしているが、会派が違えば特に連絡をしていない。今年目標を全体で決めて進めていくということではなく、今の白山市にはこういう課題があり、それを勉強するために視察に行こうということのを会派で話をしている。

(質問6)

政務活動費を使わない人はイコール活動していない人という逆の見方もある。そういう意味でも年度当初に活動予定をオープンにしたほうがよい。

(答 弁)

行きたくても行けないというケースもある。今もしくはこれから白山市に必要な講習会をどこで開催しているのか会派で調査して決めているため、一人一人が目標を立てることは厳しいとは思いますが、目標を設定することは大切なことなので参考にしたい。

(質問7)

民間では先に自分が経費を立て替えし、その後会社に請求するやり方をとっている。政務活動費の場合は毎月6万円が支給され、使わなかった分は返すことになっているが、使ったものを請求して、事務局のチェックを受けるという流れにならないのか。

(答 弁)

政務活動費は毎月ではなく半期で36万円支給されている。後払いということも議会で検討したこともあるが、もし後払いにした場合、視察に行く経費を立て替えることができない人は議員になれないのかということもある。しかし1番大きな問題は事務局の事務が煩雑になるといことから先払いをしている。

(質問8)

白山市が出資し、第三セクターで事業運営をしている施設やシステムはいくつぐらいあり、その経営状態はどうなっているのか。また、将来的にどのようにしていこうと考えているのか。

(答 弁)

例えば白山市地域振興公社やあさがおテレビが該当する。そういう団体については補助金を出している関係もあり、市や議会のほうに経営の状況について報告がある。その中で経営上の課題などの報告もあり、状況によっては審議する体制をとっている。

(質問9)

白山市だけではなく他の自治体でも施設の運営を民間に委託している。財政の問題もあると思うが、市民に対するサービスがこれまでと同じようになっているのかチェックをしてほしい。

(答 弁)

国からの交付金も減少しており、財政の規模がどうしても縮小する場合には、極力皆さんに迷惑をかけないような形で進めていくということはもっともな話ではある。ただ過重負担になってしまえばサービスの継続も難しくなってくるので、そこは提言をしながら施策遂行についてチェックをしていきたい。

(質問10)

合併して12、3年経つが、行政サービスの平準化や施設の統廃合の問題、合併特例債がなくなるなど、合併して良いこともあれば悪いこともあったと思うが、効果として何があったか聞かせてほしい。

(答 弁)

合併をしていなかったら北海道の自治体のようにになっていた自治体があったかもしれない。そういう意味では旧石川郡が合併し、このような形で進んでいるというのは良かったと思っている。また、少子化で人口が減っていくのはわかっており、金沢市、津幡町、内灘町、かほく市、野々市市、白山市で人口が減っていったときにお互いにあるものは共有して使おうということ協議している。その中に夜間小児救急というところで実際に共同でしており、交通体系もそういう形でやっっていこうとしている。そういうことでは合併して良かったと思っている。

備 考